

日本での交換留学

サピエンツァローマ大学
アリアンナ・チェッカート
学籍番号 k2490020

日本での初めて体験を表現するにちょうどいい言葉が見つかるか分かりませんが、帰りたくない気持ちは確かにはっきりしています。

慣れ親しんだこの場所や生活を離れることを考えると、胸が苦しいです。

去年の4月に日本に来ました。イタリアで日本語を勉強したのに、日常生活や初めての一人暮らしや日本語で自分の気持ちを伝えることがとても難しかったです。でも、少しずつ私は困難な状況に対処できるようになりました。留学する前に、変化や新しいことを試すのが怖かったですが、日本に来てからは自分を試すことができ、いろいろなことに挑戦しました。



最初の学期は、悩みが多くて、集中して勉強するのが難しかったですが、自分を元気づけて、悩みが驚きや感動に変わりました。お茶大の授業を受けながら、日本で季節の移り変わりを見て感動しました。春の綺麗な桜から、秋の銀杏の黄色い葉っぱまで、本当に素晴らしかったです。毎週末いつも彼氏と新しい場所に見に行ってみて、驚いた場所は数えきれないほどたくさんありました。子供の頃から夢見ていた経験をしました。

お茶の水女子大学での授業のおかげで日本語のレベルが上達したと思います。毎日日本語を使う機会があったので、コミュニケーションがだんだんと簡単になりました。

お茶大では、着物や書道、浴衣の文化の教室も体験しました。そして、初めて歌舞伎の公演を観ることができました。本やインターネットで見たことがあるだけのことを、実際に体験できて素晴らしかったです。相撲の試合を観る機会もありましたが、まさかこんなに好きになるとは思いませんでした。

期末テストと授業が終わってから、夏休みに関西と中国地方と四国に旅行して、鳥取砂丘、素敵な天野氏建、天橋立、出雲、広島と厳島、愛媛県、高野山、伊勢神宮に行きました。

彼氏と一緒に鎌倉や横浜を訪れて、湘南を探索して、江ノ島から素晴らしい七夕祭が行われる平塚にも行きました。素晴らしい場所を訪れたり、地元の人々と交流したり、地元の料理を食べてみたりしました。帰国前に、行きたいところがたくさんあるので、残された時間を旅に使うつもりです。

最後に、今まで色々助けていただいた人に感謝したいです。小谷先生と高桑先生、毎月の振り返りシートをご確認してくださって心から感謝しております。そして、国際課、国際教育センター、音羽館のマネージャーの皆さんはいつも親切で、質問があるときは毎回助けてくれてありがとうございました。チューターのまゆこさんは毎週時間を割いてくれてありがとうございました。キアラさんには、日本でこの冒険の間、私のそばにいて、私の大学の毎日を彩ってくれたことに感謝したいです。最後に、私にとってすべてが灰色に見えた時に、支えてくれて、いつもそばにいてくれた彼氏のダンに感謝します。

この経験は長く心に大切にします。まことにありがとうございます。

